

インディアナ日本語学校便り だいごう 第28号

令和6年11月23日事務所 317-255-1631 メール ijls@indiana-j-school.net

(HP) <http://www.indiana-j-school.net>

校長 森 勝義

「第10回高等部弁論大会」

～貴重な学習成果発表の場～

校長 森 勝義

11月16日、「2024年度第10回高等部弁論大会」が開かれました。大会趣旨として

貴重な高校生活を有意義なものとしていくために

1. 自分自身と自分を取り巻く社会に目を向ける。
2. 他の生徒の意見に耳を傾ける態度を養う。
3. クラス・学年間の親睦を深める。

高校1年生から3年生の諸君、28名が全員参加しました。(当日欠席の生徒論文も読ませていただきました。)

当日発表した25名の弁士たち、日々の経験から得られた、素晴らしい気付きや学びを明るく前向きに主張していました。それぞれの立場で様々な角度から自分のテーマについて問題提起をしていたことに対し、私はこれからの明日、未来が大変楽しみにになりました。

高等部の諸君は、この大会に向け、原稿を何度も何度も推敲し、練習してきたことと思います。自分の力を十分に発揮できた人もいれば、思うように力を出せなかった生徒もいたと思います。

弁論は自己を知り、自己を高めるものです。自身の結果に一喜一憂することなく、また、来年挑戦することを心から願っています。さらによい弁論とするためには、弁士と聴く側が一体となって作り上げるものです。つまり、聞いてくださる24名の生徒、高等部の先生方等に対して、「感謝と思いやり」が心の中にある弁論を心がけることが大切です。

日常生活の中での3分間、一度も口を挟まず話を聞いてもらうことはまず、ありません。3分間の主張に耳を傾け、聴いていただいた方々に対して感謝する心を大切に、謙虚な姿勢で弁論することです。「弁論は人なり」なんです。

自分の個性を生かすこと。自然な笑顔が発せられている弁士は残念ながらいませんでした。「伝える言葉」を話していて、「伝わる言葉」には変わっていませんでした。だからこそ、原稿はしっかり暗記し、聴く人をしっかり見て弁論してほしかったです。もちろん、そんな時間など、あるはずがないことは十分私自身、理解しています。現地校のカリキュラムをこなしながら、日本語学校の教科も取得しなければならないこと、頭が下がります。しかし、今の日本語学校の諸君は未知なる力を秘めています。優秀な高等部の先生方のサポートがあれば、できると信じています。

「第11回高等部弁論大会」今から楽しみです。「弁論は人なり」「信は力なり」です。

「日本に一時帰国」

小学4年1組 齋藤 晴太

ぼくは、十月三日から、十月十一日まで一時帰国をしました。飛行機では、えい画を見たり、本を読んだりして、過ごしました。ぼくが、日本に一時帰国して、一番楽しみにしていた事は、友達と遊ぶ事でした。

ぼくが、一時帰国していた日は、ほぼ雨でした。四日目でやっと晴れになり、友達と一しょに遊べてうれしかったです。その日は、日本で住んでいた家の近くの公園で、弟と弟の友達と、友達のお兄さんと一しょにドッジボールで遊びました。友達は一年前より、すごくせが高くなっていてびっくりしました。

ぼくが、日本に一時帰国して一番印しようにのこっているのは、その子がとても足が速くなっている事と、ドッジボールがうまくなっていたことでした。なので、ドッジボールの試合がすごく長くて、勝負がつきにくかったけれど、ぼくが投げたボールを友達が取れず、勝ててとてもうれしかったです。久しぶりに静岡県に帰って、友達ときれいな富士山を見る事が出来て良かったです。次に日本に帰る時にもまた友達と公園であそびたいです。

「祖父と仕事」について

小学5年2組 西川 翔真

わたしの祖父は、会社で働いていました。会社では、工場のものづくりの方法やそれをつくるための機械をつくっていました。工場は栃木県にあります。祖父の仕事は、新しい機械を工場に入れることです。それは工場が夏休みなどのときに入れて試運転をするので、祖父は休みがなくて大変だと言っていました。仕事で大変だったことは、他の会社の人と調整をして工場の現場に機械そうちなどを設置することだそうです。うれしかったことは、会社の人たちと仲良くなったり、他の会社の人たちとも仲良くなれることだと言っていました。仕事には休みがないので大変だなあと思ったけれど、仲良くなった人たちとゴルフなどができるのはいいなあと思いました。

「未来につなぐ工芸品」工芸品の魅力を調べよう

「とよはし筆」

小学4年2組 安藤 陸央

とよはし筆は、愛知県とよはし市で作られている筆です。とよはし筆は、一本一本手作りです。ここでは、とよはし筆のみりよくを三つしょうかいします。

一つ目は、「材料が手に入りやすい」です。とよはし市は、写真①のように、筆の毛の材料になるためき、いたちなどの動物の毛がかんたんに入ります。二つ目は、「使いやすさ」です。とよはし筆は、水を使って毛をまぜて作るので、筆はすみをよくすいます。(写真②)。すべる書きごちがいいです。三つ目は、「種類の多さ」です。写真③のように、書道用、日本画用、化しょう用など、筆の種類は数百あります。

このように、とよはし筆はとてもみりよくのある筆です。みなさんも、習字をやる時にとよはし筆を使ってみてください。

「美しい草加本染めゆかた」

小学4年2組 野村 優太

埼玉県草加市には、ぼくのおじいちゃんとおばあちゃんが住んでいます。おじいちゃんの家近くに日本の工芸品はあるかと思い調べてみました。すると、草加には草加本染めゆかたという工芸品があったのでしょいかいします。

初めに、埼玉県草加市は、ゆかたをそめる上で大切な水がほう富にあります。荒川をはじめ、おじいちゃんの家近くにあやせ川があり、また中川もあります。工芸品のとくち

ようとして材料がありますが、そめ物をあらうときに使う水もそのうちのひとつだと思います。次に、草加本染めゆかたは、そめ方に特ちょうがあります。「ちゅうせん」というそめ方は、一メートルの間かくで生地を折ってのりづけしてそめます。他のそめ方は、もっと長い折り方だったために広い場所が必要でした。しかし、この「ちゅうせん」というそめ方は、広い場所は必要ないため、以前よりせまい場所で、短い時間でそめられるようになりました。最後に、草加本染めゆかたは、もようの美しさもとくちょうとしてあげられます。せんりょうをそそいでそめ上げるために、うら表がなく、がらがあざやかできれいです。

このように、草加本染めゆかたは、水のほう富さ、そめ方のとくちょう、もうようのきれいさにみりよくがあります。もし、埼玉県草加市に行くことがあったら、みなさん、ぜひ、草加本染めゆかたを買ってみてください。

「するがひな人形を作るためにはどんな工夫をしているのだろう」小学4年2組水野 湊
するがひな人形とは、静岡県のするが地方で作られているひな人形のことです。これは、江戸時代から続く工芸品です。細かい表げんとしなやかさで有名です。

するがひな人形は、顔や服そうにとくちょうがあります。着物のもようは、細かく作られています。そ材は、木せいの台ざやうるしぬりの道具を使う場合が多いです。うるしぬりとは、美しさ、たいきゅうせい、かんきょうへのやさしさを守った日本の伝とう的な方法です。観光地やせん門店ではん売されています。ひな祭りの時期になると、静岡市で「するがひな人形まつり」というイベントが開さいされます。静岡市の文化を伝える役わりをしています。

このように、するがひな人形は、その美しさや細やかさで工芸品として大切にされてきました。ひな祭りのかざりとしてだけではなく、工芸品で高いひょうかを受けています。

「夏休みの出来事」

小学6年2組 小森 都宥子

私は夏休みに、カナダのバンフ国立公園に行きました。カヌーに乗ったり、釣りをしたけれど、一番印象に残ったのは、「レイクアグネスティーハウス」です。有名なレイクルーズ湖から1時間山を登った先にあります。山道は想定よりも険しく、着いた頃にはもうへとへとになっていました。私は父に何回も「もう半分進んだ？」と尋ねました。カフェーは、アグネス湖のほとりにありました。まだ開店したばかりでしたが。行列が出来ていました。私たちの番になり、中に入ると薄暗くてびっくりしました。なんと、電気が通っていないそうです。私はサンドイッチ（スープ付）を頼みました。最初私は「スープ？ サンドイッチだけでもいいんだけどな」と思っていました。食べてみると美味しかったです。ここは、雰囲気があっておススメなので、皆も機会があったら行って見てください。

「夏休みの出来事」

小学6年2組 伊東 咲姫

今年の夏休みは家族で、フロリダのビーチハウスに行きました。フロリダには3家族で集まりました。私のおじいさん、おばあさんと従妹。ハウスは青色で目の前はプールがあります。ゴルフカートで移動します。

一番楽しかったのは、花火を見に行ったことです。家を出て、なかなか場所が見つからず、ゴルフ場の中に入りました。そこは最高の場所でした。池の前で、池に花火が映ってとてもきれいでした。花火はクリスマスの色や、青白赤のアメリカの旗の色でした。ゴルフ場にはほかに数台しかゴルフカートがなく、花火の会場にとっても近く、最高の場所で

した。花火が始まるのを待っている間は、ロケットをシュリングショットで打って、空高く飛ばして遊びながら待ちました。

◎11月16日

<投稿作品>

小学5年1組 池田 菜々音 「サンギビは 家族みんなで ターキーだ」
小学3年3組 村瀬 茜 「シーモアは 学校あって 楽しいな」
小学1年1組 池田 智哉 「おかあさん おいしいごはん ありがとう」
小学1年3組 読み人知らず 「ゆきだるま すぐとけちゃう かなしいな」
小学6年1組 加藤 玲耶 「冬の前 オレンジ色の 柿育つ」
小学4年2組 山本 麻陽 「男の子 人のはいくを 勝手にみる」
小学4年1組 読み人知らず 「あきになり こうようがきれい いい気分」
小学3年1組 読み人知らず 「五さいには たのしいものが あるかもな」
小学3年3組 佐倉 快斗 「わるいことをすれば ばちにあたる」
中学3年2組 川端 岳 「コンパスで 円を書くのは ちょうへただ」
職員 「土曜日を 指折り数えて 待つ子ども」

ダジャレコーナー

小学1年1組 宮裕 璃子 「とんぼは とんぼがえり」
小学2年1組 板垣 咲菜 「さよおなら おなら」
小学6年1組 岡野 創志 「田中くんが たなから出てきた」
小学3年2組 江頭 勇樹 「ぶたが ぶったおれた」
小学3年2組 岡 瑞帆 「たいようの ひざしが いたいよう」
小学3年3組 松村 大和 「どうぞに せきをどうぞ」
中学3年1組 日本? 「北海道は テツカイどう」
中学2年 もりエモン仲間達 「ホットドックを食べて ほっとする」



ヒゲ森の言葉の森・探検



きよくじつしょうてん

旭日昇天

勢いが非常に盛んな様子。「旭日」は朝日。「昇天」は空に昇ること。

自由とは責任を意味する。
だから、たいていの人間は
自由を恐れる。

バーナード・シヨウ

1856年〜1950年。イギリスの劇作家
得たいものと負える責任を考えてみよう。リスクを負
うのなら誰もが自由を手にすることができる。